

平成28年度 第1回射水市少子化対策推進委員会 議事要旨

- 1 開催日時 平成28年8月24日(水) 午後6時30分～午後7時10分
 - 2 開催場所 射水市役所小杉庁舎401会議室
 - 3 出席者
 - (1) 推進委員会委員
石津委員(委員長)、金瀬委員(副委員長)、沢田委員、安田委員、大門委員、上田委員、島井委員、立浪委員、宮田委員、千田委員、山崎委員、小林委員、岩島委員、森瀬委員、古谷委員、楠井委員、二川委員
 - (2) 当局
福祉保健部長、子育て支援課長、学校教育課長、本江幼稚園長、七美幼稚園長、大門わかば幼稚園長、子育て支援課員3名、学校教育課員1名
 - 4 欠席者 明橋委員、清水委員、瀧田委員
-

会議次第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 正副委員長選出
- 4 議 事
 - (1) 市立幼稚園の現状と課題について
 - (2) 幼稚園部会の設置(再開)について
 - (3) 市立幼稚園の今後のあり方について
- 5 閉 会

正副委員長選出

要綱に基づき、委員の互選により石津委員を委員長に、金瀬委員を副委員長に選出した。

《議事要旨》

(1) 市立幼稚園の現状と課題について

(2) 幼稚園部会の設置(再開)について

(3) 市立幼稚園の今後のあり方について

※一括審議

(委員長) 始めに幼稚園部会を設置することについて、特に意見が無いようでしたら、改めてこの委員会に幼稚園部会を設置すること、そして市立幼稚園の今後のあり方について検討していただくこととしますが、よろしいか。

(各委員) 「異議なしの声」

(委員) 保護者から要望があったとのことだが、その内容は公表できるのか。

(事務局) 要望書という形で出されているが、保護者の方が今思っていることを書面化されたものである。正式な要望書というものではないが、保護者の方も少ない園児数の中でどのように自分たちの子どもが育ちを保障してもらえるのかということに関する思いや、自分たちが大変危惧していることを書面にされて子育て支援課あてに提出されたものである。

(委員) 私たちで意見を出し合うことであるが、保護者がどのような考えをもっているのかを片隅に置いておく必要があると思ひ質問をした。

(委員長) この場に、全貌を公表するような文書はないのですけれど、意見をまとめると資料のとおりでよろしいか。

(事務局) 意見をまとめると資料の4ページにあるように、来年の新入園児は1人が見込まれ、そうすると全体では6人になることから本当は地元の幼稚園に通わせたい気持ちは十分あるけれど、全体として幼児教育という自分の子どもの育ちを考えると、安易に広い選択肢を残して本江幼稚園の入園募集をするよりも募集は停止してほしい。全体で友達も誘って、別の幼稚園・七美幼稚園に申込みをするので、本江幼稚園の募集は停止してほしいということが、保護者の方の意見であった。

(委員) 本市の3歳から5歳児の数は16%減との説明があったが、市内保育園の在園児数も同様に減少していると思うが、それに比べて市立幼稚園の在園児数は、極端に50パーセント近くも減少しているが、これは市立幼稚園以外の幼稚園でそれ相当の受け皿があるので、特に支障はないという理解でよいか。

少子化ということも当然あるが、子どもの減少率以上に市立幼稚園の在園児が減っている。特に市立幼稚園以外の施設で、それ相当の受け皿があるので、こういう状況になっているのか。それとも他の要因があるのか。

(事務局) 保育園の在園児が減少しているのは、全体的に少子化が原因と考えているが、保育園の状況を見ると3歳以上児は、横ばい、あるいは減少となっている。3歳未満児は、入園率が上がっている。また、幼稚園で減少していることは、働く母親が増えたことにより、保育園の方に移行している子どもが多いのだと思っている。

(委員) 市立幼稚園の数は、平成20年度から28年まで変わってないのか。

(事務局) 市立幼稚園の数は、変わっていない。

(委員長) 他に意見がないようでしたら、本江幼稚園は来年度の入園募集を停止し、休園又は廃園について11月頃までに結論を出すことについて、委員会として了承・賛同することよろしいか。

(各委員) 異議なし

(委員長) 七美幼稚園と大門わかば幼稚園については、今回は意見を聞かないのでよろしいか。

(事務局) 七美幼稚園と大門わかば幼稚園については、今後、市から公表される「射水市公共施設等総合管理計画」等の内容を踏まえて、幼稚園部会及びこの少子化対策推進委員会で、委員の皆様から意見をいただきながら、進めていきたいと考えている。本日は、本江幼稚園の入園募集のところに絞って意見をいただけたらと考えている。

(委員長) それでは、本日予定していた議事は以上で終了しました。

(委員) すいませんが一言だけよろしいか。少子化対策推進委員会ということで、この幼稚園の問題も非常に大事なことだと思うが、少子化に対する対策を何か話しする機会はないかと思って今日は出席させていただいた。

子どもが減っていくことが目に見えて分かっているのに、こういう幼稚園をどうするかという話もちろん大事だが、これから10年、20年先を見たときに、子どもをどうやって増やしていくのかということは、非常に大事なことだと思う。

そういう話も、こういう会も含めて、みなさんで知恵を出し合って、若者たちのカップルができる政策に取り組むとか、そういうような話をする機会もあれば良いと思う。このまま、淡々とこの会が終わるのがすごく残念で一言発言した。

(事務局) 今回の会合は、本江幼稚園の今後についてということで緊急に開催させていただいたもので、今後、市全体の少子化に関しての議題については、別の機会に開かせていただくとして、その際にはよろしくお願ひしたい。